

# むら いし 村石あつし

## 富山市議会活動報告



12月8日

本会議で一般質問



2016年 1月・2月

No.17

発行責任者  
富山市議会社民党議員会

村 石 篤



放水している池多分団員から  
説明を受ける村石(左から3人目)  
【総合防災訓練 平成27年10月3日、芸術創造センター】



家庭の火災警報機の性能と設置を  
説明する女性消防団(中央が村石)  
【総合防災訓練 平成27年10月3日、芸術創造センター】

### 皆さまへのごあいさつ

#### 新年あけましておめでとうございます

私は2009年(平成21年)4月、多くの皆さまのご支援とご協力を賜わり、当選をさせていただいたから8年目となります。初心を忘れずに市議会で活動をしております。

これまで、皆さまからは、議員活動の心得などについて教えていただいたり、地域の実情や要望について、詳しく説明していただいたりして、大変お世話になっていますことに、心からお礼申し上げます。

平成27年12月定例会では、皆さまからいただいた要望や意見に基づいて、調査と分析を行い、次の4項目について質問しました。

- 児童相談所の設置については、児童虐待の防止対策などを、自治体が包括的に実施することが、実効性を上げることにつながると考えます。児童相談所の設置についての森市長の見解を、質問しました。
- 平成25年富山市長選挙の選挙公約のなかで森市長は、「シルバー人材センターの拡充」を掲げておられました。シルバー人材センターの会員数の増加と就業率の向上の取り組みが必要と考えることから、「シルバー人材センター拡充」についての森市長の考えを、質問しました。
- 今年4月に始まった子ども・子育て支援新制度に、

関連した質問をしました。質問は、保育所入所児童の事故防止についてのこれまでの取り組みと今後の取り組みについて、富山市の保護者が育児休業に入る場合における入所児童の取り扱いについてなどがありました。

- 富山市は職員参集訓練として平成27年9月29日、午前5時50分呉羽山断層付近を震源とする震度6強の地震が発生したとして実施されたことから、今回の職員参集訓練の総括から見えてきた課題について、質問しました。

昨年12月18日、富山市に提出した平成28年度予算編成に対する要望書は、雇用不安を取り除く施策を重点に、市民の大きなニーズである少子高齢化・人口減少対策、医療、介護、教育、福祉制度、そして公共交通と再生可能エネルギーを推進するまちづくりの充実に努められることなど、112項目となりました。

皆さまの声に耳をかたむけ、皆さまの代弁者として、「いのちとくらしを大切に、活力ある富山市を」つくるために、7年間の活動を活かし誠心誠意努力する所存です。

市民の皆さん、今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

# 児童相談所の設置について

**村石** 児童虐待の防止対策などを行う児童

相談所については、富山市で設置してはどうか。

**森市長** 児童虐待に関する相談・通告先である県との窓口が一元化され、子育て支援から要保護児童対策までの総合的な相談支援体制が確立され、相談者や要保護児童への迅速な対応が可能となることか、本市では、児童相談所業務は基礎自治体である市が担うべき業務の一つであると考えています。

しかし、児童福祉士や児童心理士等の専門的な有資格者を多数配置する必要があることなどの課題があると考えています。現在、厚生労働省の専門委員会では、児童相談所を中核市（富山市は中核市）にも必置とすることも議論されていることから、今後とも国の動向を注視し、慎重に検討していきます。

## 私の考え方と今後の課題

親から虐待を受けている児童の保護から、親に対する支援を分離することなく、富山市で実施した方が、きめ細かい児童福祉が実現できると思います。経験豊富な職員の配置と、必要な財源措置が課題です。

【北日本新聞 2015年11月13日】

**厚労省ワーキンググループ**

児童虐待の防止対策を協議する厚生労働省専門委員会のワーキンググループ（座長・奥山真紀子国立成育医療研究センター副院長）は12日、児童相談所が担っている保護など強制措置を伴う「介入」と、親に対する「支援」の機能を分離、支援機能は市区町村などに移行するとの見解をまとめた。虐待が増加の一途をたどる中、職員不足などにあわせ児相の任務を介入機能に特化し、負担軽減を図る。

虐待に関する通告を受けた初期対応のシステムについても協議。受理した機関が緊急性を判断し、内容に応じて警察や児相、市町村に対応を振り分ける仕組みが必要との考えも示した。

虐待に関する通告を受けた初期対応のシステムについても協議。受理した機関が緊急性を判断し、内容に応じて警察や児相、市町村に対応を振り分ける仕組みが必要との考

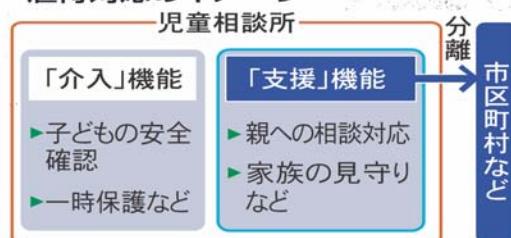
察がさらには具体的な議論をして、年内に報告書を取りまとめる。その後、厚労省は児童福祉法や児童虐待防止法などを改正案を来年の通常国会に提出する方針だ。

ワーキンググループの見解では、現在、児相が担当している虐待以外の養護相談や非行相談についても、別の機関に移行させる案が示された。支援機能の市町村などへの移行も含め、4年後の実施に向けて各自治体が具体的な在り方を検討するよう求めている。

## 児童相談所「介入」に特化

虐待増対応負担軽減策「支援」は市町村

### 虐待対応のイメージ



【富山新聞 2015年12月9日】

児童相談所の設置時期を慎重に検討  
村石篤氏(社民)児童相談所の設置について見解を述べた。



さだが、児童心理士の配置や施設整備などの課題もある。設置の時期は慎重に検討する。

市が担うべき。

職員を県の富

山児童相談所に派遣し、実務

経験を積んでいる。厚生労働

省が中核市への設置を議論し

ておらず、動向を注視する。

市が担うべき。

職員を県の富

## シルバー人材センター事業について

**村石** 平成25年富山市長選挙の選挙公約のなかで森市長は、「シルバー人材センターの拡充」を掲げておられました。「シルバー人材センター拡充」の公約について、森市長の考えを問う。

**森市長** 人口減少や、高齢化が進展する中で、高齢者のいつまでも元気に活躍できる場を提供することの重要性については、日々、話しているところであります。中でもシルバー人材センターは、高齢者のこれまで培われてきた知識、経験を活用し、生きがいを持って働いていただく場として、重要な役割を担っているものと考えています。

しかしながら、シルバー人材センターの運営は、国・県の補助金が廃止されたことから、非常に厳しい運営状況にあり、シルバー人材センターの安定した運営を確保することが喫緊の課題であると考えています。本市では、今後もシルバー人材センターを高齢者の生きがいづくり、そして活躍の場として、十分活用するとともに、継続して支援

していく考えです。

**村石** 今後、シルバー人材センター事業拡充の施策を確実に実行するために、将来の展望も含めた職員配置について、検討すべきと考えますが、市の見解を問う。

**橋本福祉保健部長** 平成25年3月策定の第4次中期計画では、本所と支所の統廃合を含めた効率的な組織体制の見直しに取り組むことで、適正な人員配置に努めていく方針となっています。本市では、当計画が着実に実行されるよう、今後ともシルバー人材センターと連携を図ってまいります。

### 私の考え方と今後の課題

富山市シルバー人材センター会員は、年間平均約30万円を、収入としていると聞いています。高齢者の生活改善を図るためにも、現在より多くの会員を増やす体制確立と、仕事をしやすい環境整備が課題です。

## 子ども・子育て支援新制度について

**村石** 保育所入所児童の事故防止について、これまでの取り組みと今後の取り組みについて問う。

**橋本福祉保健部長** 本市では、保育中の事故防止を徹底するため、日頃から子育て支援課の職員が巡回し、危機管理体制の確認や安全対策について指導や助言を行っています。一方各保育所でも、重大事故を未然に防ぐため、打撲やすり傷等の重症にいたらない事案について、市が作成した危機管理対応要領をもとに、検証や対応策の検討などを行い、再発防止や重大事故が発生しないように努めています。今後とも、巡回指導や市内の全保育所を対象とした研修を行い、国のデーターベースを活用した事例研究等も行っています。

**村石** 保護者が育児休業に入る場合における、入所児童の取り扱いについて問う。

**橋本福祉保健部長** 保護者が育児休業に入る場合は、保護者が、保育可能な状況であることから、原則としては退所する必要があります。しかし、平成14年の国の通知(本年の子ども・子育て支援新制度でも同じ)により、地域における保育の実情を踏まえたうえで、本市では、年長児である場合または3歳未満児であっても育児休業が1年以内で、施設長が保育の継続の必要性を認めるときなどには、施設の継続利用を承認しています。

**村石** 保育士確保については、養成、就職・離職防止、潜在保育士の活用、必要な財源の確保など、総合的な見直しが求められていると思うが、当局の見解を問う。

**橋本福祉保健部長** 本年4月からの子ども・子育て支援新制度により、保育所や認定こども園などへの入所児童数が増加し、全国的に保育士不足が顕著となり、本市でも同様です。保育士資格があっても働いていない潜在保育士は約70万人いるとされ、潜在化する原因の一つに、保育士の待遇が他業種より低いことから、国は保育士の賃金改善に取り組んでいます。本市としては、保育士確保は、国をあげて総合的に行うことが重要であると考えています。また、県内の保育士養成校などの関係機関と連携し、保育士の確保に努めています。

### 私の考え方と今後の課題

「東京都保育士実態調査報告書」(2014年3月)によれば、6人に1人(16%)が保育士の仕事を辞めたいと思っています。「どのような条件でも保育士として働くつもりはない」という答えはわずか3.8%です。待遇改善の予算をきちんとつけて、現場の保育士を増やすことが課題です。

# 富山市職員参集訓練について

**村石** 平成27年9月29日、午前5時50分呉羽山断層付近を震源とする震度6強の地震が発生したとして職員参集訓練が実施されたが、参集するために要した時間について問う。

**俣本建設部長** 参集訓練では、できる限り、徒歩または自転車、バイクで参集することとしています。今年度の訓練では、対象とする職員は2,126人で、連絡を受けてから、定められた場所に参集するまでに要した時間は、本庁職員等では58分、地区センター班要員では27分となっています。

**村石** 今回の職員参集訓練の総括から見えてきた課題について問う。

**侯本建設部長** 見えてきた課題は、連絡体制として、一部の所属で情報伝達が正しく行われなかつたこと、収集方法として、マイカーや公共交通で収集した職員の割合が約48%のこと、防災意識として、訓練の情報を受ける時刻が年々早まわっているにもかかわらず、自宅出発時間が早まわっていないこと、などが考えられます。

## 私の考え方と今後の課題

「釜石の奇跡」起こした、片田敏孝教授は、釜石市の小中学生に「避難3原則」の姿勢を学べと教

えていたとのことです。①想定にとらわれるな、  
②ベストを尽くせ、最善を尽くせ、③率先避難者  
になれの三つです。職員参集訓練に適応すると、  
「率先参集者になれ」であると思います。職員  
が、我先に集まり的確な業務を開始する姿勢を、  
確認する訓練とすることが、課題です。

## 12月定例会で可決された主な議案

【予算案件】

- ◇平成27年12月富山市一般会計補正予算  
    予算額 9億6,920万6千円  
    (武道館天井改修工事:呉羽中学校など4,860万、豪雨に伴う災害復旧事業6,050万円など)
  - ◇平成27年6月富山市特別会計補正予算(2会計)  
    予算額 4,202万4千円  
    (企業団地造成事業3,046万5千円、)
  - ◇平成27年12月富山市企業会計補正予算(1会計)  
    予算額 1億1,573万5千円  
    (下水道事業 1億2,078万7千円)

【条例案件】

- ◇富山市総合行政センター設置条例を廃止する条例
  - ◇富山市固定資産税の不均一課税に関する条例

●參集訓練・検証資料【防災対策課】

	平均参集受時間				平均自宅出発時間				平均参集所要時間				大規模地震時の参集率 (歩・自転車・バイクのみの割合)			
H27	本部室	部 局	地 区 センタ	全 体 平均	本部室	部 局	地 区 センタ	全 体 平均	本部室	部 局	地 区 センタ	全 体 平均	本部室	部 局	地 区 センタ	全 体 平均
	6:08	6:17	6:21	6:15	6:43	6:46	6:37	6:42	1:09	0:57	0:26	0:50	60.0%	40.9%	53.8%	51.6%
H26	本部室	部 局	地 区 センタ	全 体 平均	本部室	部 局	地 区 センタ	全 体 平均	本部室	部 局	地 区 センタ	全 体 平均	本部室	部 局	地 区 センタ	全 体 平均
	6:14	6:13	6:21	6:16	6:45	6:42	6:36	6:41	1:04	0:56	0:23	0:47	66.0%	41.8%	58.7%	55.5%
H25	本部室	部 局	地 区 センタ	全 体 平均	本部室	部 局	地 区 センタ	全 体 平均	本部室	部 局	地 区 センタ	全 体 平均	本部室	部 局	地 区 センタ	全 体 平均
	6:15	6:20	6:30	6:21	6:40	6:44	6:43	6:42	0:53	0:50	0:23	0:42	66.7%	42.0%	57.3%	55.3%